大阪

おおさか支局
〒530-8251（住所不要）
毎日新聞社会部おおさか支局
TEL06・6346・8443
FAX06・6346・8444
メールはat-osaka@mainichi.co.jp
読者の皆さんの取り上げてほしいテーマなど、お寄せください。

【購読お申し込み】
フリーダイヤル 0120-468012

星の占い

マーク・矢崎 1日

★牡羊座（3・21～4・19）ノルマに縛られそう。テレワークでもケジメを大切に。
★牡牛座（4・20～5・20）強運に恵まれるとき。積極的に行動して運が開けます。
★双子座（5・21～6・21）不都合な言質を取られぬよう注意。口は災いのもとです。
★蟹　座（6・22～7・22）買い被られるとき。大いに盛って運が開けそうです。
★獅子座（7・23～8・22）張り切り過ぎてトラブルあり。テリトリーに注意して。
★乙女座（8・23～9・22）人気や評判が上がりそう。イメージチェンジが幸運の鍵。
★天秤座（9・23～10・23）家や家族が幸運の鍵。部屋の掃除をしてお宝発見も。
★蠍　座（10・24～11・22）幸運な情報あり。ネットで配信されるニュースに注目。
★射手座（11・23～12・21）継続が力となるとき。新しいことへの誘惑に注意。
★山羊座（12・22～1・19）自己主張が強いとき。一歩引くことで味方が現れます。
★水瓶座（1・20～2・18）口は災いのもと。安易な約束からのトラブルに注意して。
★魚　座（2・19～3・20）SNSに幸運あり。新しい友達を作って可能性拡大も。

大阪市読書感想画コン 入賞作品決まる

本の感動を絵で表現する第38回大阪市読書感想画コンクール（大阪市学校図書館協議会、毎日新聞社主催）の入賞作品が決まった。小学校から高校まで計5245点の応募があり、優秀賞16点、優良賞34点が選ばれた。入賞作品は5日から13日まで、大阪市西区の市立中央図書館で展示される。

優秀賞の作品は第32回読書感想画中央コンクール（全国学校図書館協議会、毎日新聞社など主催）に出品される。【緒方智雄】

入賞は次の通り。（敬称略、数字は学年）

◆優秀賞◆
＜小学校低学年＞弘中日史（友渕1）多賀谷夏月（西船場2）桑原蒼生（墨江3）原田一樹（姫里3）
＜同高学年＞北庄司ありあ（桃陽4）福地結衣（深江4）谷山音羽（諏訪6）松本菜々華（弁天連北1）麻生嶋玲奈（北田辺2）北庄司かのん（桃陽2）中野天晴（市岡2）神野由妃（みどり3）杉山瑛太（大淀3）谷垣柊歩（堀江3）村中愛菜（常盤3）

大阪市立友渕小1年、弘中日史さんの作品「エメラルドのみやこ」（本は「オズの魔法使い」）

＜中学校＞大野真歩（三国1）大浦鳳（市岡2）小國桃寿（堀江2）松本莞奈（市岡2）
＜高校＞加島一璃亜（工芸1）北口愛里（同1）矢倉妃菜子（同1）松本悠子（桜宮1）
◆優良賞◆
＜小学校低学年＞岩橋諒（海老江東1）岩本思宇香（大宮1）西田美和（西船場1）吉井乃有（豊崎本庄1）吉川ちえり（喜連北1）麻生嶋玲奈（北田辺2）北庄司かのん（桃陽2）中野天晴（市岡2）神野由妃（みどり3）杉山瑛太（大淀3）谷垣柊歩（堀江3）村中愛菜（常盤3）
＜同高学年＞北野月（滝川4）桝井愛加（堀川4）木村美貴（同5）三科鈴（墨江4）谷内篤仁（清水丘5）藤瑞歩（玉川5）森下夏樹（丸山5）松村緑里（同6）五十川凜音（佃西6）三森菜愛（同6）森川未唯（南田辺6）吉永美雪（中野6）
＜中学校＞森山葵（花乃井1）井海凜花（同2）山下結子（東1）菅原優大（歌島2）永井心優（市岡2）辻本星愛（同3）横田華音（文の里2）
＜高校＞清水もも（工芸1）堀池星那（咲くやこの花1）浅井心愛（桜宮2）

わが輩は出世猫である

和歌山電鉄 ニタマ、執行役員に昇格

和歌山電鉄（和歌山市）は貴志駅（和歌山県紀の川市）の猫の駅長「ニタマ」を執行役員に任命した。客招きの功績を評価したもので、同社の猫の役員は2010年の先代駅長「たま」（15年死亡）以来、11年ぶり。たまは社長代理にまで出世しており、同駅で行った辞令交付式で小嶋光信社長（75）は「たまは猫ブームを作ってくれた。ニタマには地方鉄道の楽しさをもっと伝えてほしい」と期待を寄せた。

ニタマは15年8月、貴志駅長に就任。19年1月から「マネージャー駅長」（部長職）となっていた。昇格に伴い、「ウルトラ駅長」として沿線の全14駅長を兼務する。待遇も改善し、キャットフードをより高級なものにするという。

また、同社はバレンタインデーの贈答用を意識した和三盆糖使用の菓子「和にゃん盆」や、記念品になる硬券式の往復切符を初めて売り出した。小嶋社長は「新型コロナウイルスの影響でインバウンド（訪日外国人）の利用客がなくなり、ノックアウト寸前の経営状況。楽しく乗っていただけるよう話題を提供していく」と話した。【新宮達】

小嶋光信社長（左）から執行役員の辞令を交付される「ニタマ」＝和歌山県紀の川市で

作品紹介

第66回青少年読書感想文コンクール 大阪府入賞

「廉太郎ノオト」を読んで

大阪信愛学院高1年 小林千泰さん

代々、藩の家老を務めた名門の家柄に育った廉太郎は、琴をたしなむ姉の影響を受け音楽に興味を持っていきました。当時は、音楽など教育ではなく芸の一つであると言われる時代であり、また家老を務め政府の右腕として活躍した父吉弘には、音楽の道に進むことを素直に受け入れてもらうことが出来ませんでした。それでも姉の病死を機に音楽への関心はどんどん高まり、従兄の大吉や、母正子の力添えにより東京音楽学校への進学の道が開けたことはとても良かったと思います。

大吉宅に下宿させてもらいながら学生生活を過ごすある日、バイオリンが奏でる「G線上のアリア」に誘われて神社境内へ歩き進んで行く廉太郎は、牡丹のように咲き誇る少女の幸田幸の姿を目にすることになります。その後、「ピアノとバイオリンのためのソナタ」を重奏したことを切っ掛けに、幸とは音楽に対する意識と技術を競う仲となり、節目ある毎に重奏の機会を得ながら、特別な存在へと気持ちが移り変わっていく様子はとてもよく伝わってきました。又、糸重や小山、島崎ほか西洋音楽を明治日本に根付かせようと尽力される講師に師事して学び、更にバイオリニストの幸田延やケーベル師との出会いは、廉太郎の音楽に対する熱意に拍車をかけていくことになりました。

一度だけ延の課外講義で、男女がテニスを一緒に楽しむという音楽から離れた場面が出てきますが、そこで「お正月」や「鳩ぽっぽ」の作詞を担当した東くめとの出会いも果たしています。そのことが後にピアノを弾くかたわら、作曲へと音楽の幅を拡げていくことに繋がっています。同時に世の中も西洋音楽の影響を受け、日本の音楽史に於ける大きな変化が生まれてきて、芸と言われた音楽が教育に組み込まれようとする動きと重なり、廉太郎にとっては明治文明開化の波に乗ることで真の音楽家への道を切り開いていったように思います。延の紹介によりケーベル師の弟子となり、幸との仲間としての関係も深めながら音楽に携わっていく姿は、若者の夢に向かって突き進んでいく力強さが生き生きと表現され、その前向きな姿勢はとても印象に残りました。

今、私は丁度、廉太郎が夢に向かって進んでいったのと同じ年頃を迎えており、まだ将来の夢は決まっていませんが音楽にはとても興味があります。廉太郎がケーベル師の前で披露した「月光」は、三才からピアノを習い続けている私も弾いたことがありますが、私は「有名な人の曲を弾きたい。」という思いでピアノに向かってきて、楽曲が醸し出している情景など想像したことすらありませんでしたし、技術的にそんな余裕もありませんでした。闇の中を連想し、その中に浮かび上がる月の光や静寂な雰囲気をピアノの音で表現する彼の様子からは、若くして天才と呼ばれた高い技術も窺えました。又、小さい頃は年末を迎える度に「お正月」を歌って燥いでおりましたし、音楽の授業では「荒城の月」や「花」などを歌ってきました。現在は中学から続ける吹奏楽部で音楽に携わっています。残念ながら、廉太郎のピアノ曲には触れたことがなかったので、この本を読み終えて初めて聴いてみました。その中でも、二十四年に満たない短き生涯の最後のピアノ曲となった「憾」は題名の通り、残り少ない命の時間の中で、非情な現実を受け入れなければならない哀しみと迫ってくる死を憾み、三分という短い作品に自身の短い命を重ねながら表現しているようで、深い悲壮感が伝わってきました。

もし長い人生を歩んでいたとしたら、後世に名を残す幸やくめ、ほかたくさんの音楽家仲間と共に、名ピアニスト、作曲家としてより大きな功績が期待できた天才音楽家として、世界に名を刻んでいたことと思います。現代に於いて、私たちの頭で考え心に受ける廉太郎の才能と音楽は、幼稚園唱歌や合唱曲を作った人という人物像が根付き、短く壮絶な人生を送ったことを知っている人は少ないのではないでしょうか。人は、昔も今も変わらず予期せぬ出来事に人生が変わってしまうことがありますが、大分から上京し、恵まれた人脈に支えられ、幸と深まり合う絆を確認し、「これから。」という岐路に立つと同じく、死病との闘いが始まった人生は無念というほか言葉が見つからない気がしました。これからも、代表とする「お正月」「花」「荒城の月」の数々の作品は、たくさんの人に愛され親しまれ歌われ、音楽が人と人の心を繋いでいってくれることを切に願っています。

（「廉太郎ノオト」谷津矢車／中央公論新社）

高校の部 特選

日本遺産巡ってカード集めよう

滋賀県内34カ所

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会は、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」を構成するうちの34カ所で「日本遺産カード」を配布するキャンペーン「日本遺産　滋賀カードめぐり」を実施している。5枚以上集めると抽選で滋賀の銘品がプレゼントされる企画に応募できる。

カード表面は遺産を象徴する文化財の写真で、裏面に所在地や文化財の概要などが掲載されている。比叡山延暦寺や三井寺、彦根城跡、竹生島など滋賀県内10市の34種類ある。3月8日までキャンペーンを実施するが、カードは各1000枚限定で、なくなり次第、配布を終える。配布場所や時間、カードの有無の確認などはキャンペーンサイト（https://www.biwako-visitors.jp/enjoy-athome/japan-heritage/）や、同推進協事務局のびわこビジターズビューロー（077・511・1530）で案内している。【北出昭】

上右「日本遺産　滋賀カードめぐり」で配布されるカード　上左「彦根城」　下「近江八幡の水郷」＝いずれも滋賀県提供

あなたの愛の手を 海を越えて

笑顔見たい

ラオス・カムアン県 ファ・ラマさん16歳

<＿795＞

4人きょうだいの末っ子です。農業に就く両親の収入だけでは家族を支えることができず、料理や掃除、動物の餌やりのほか、学校が終わると魚用の網を作る父の仕事を手伝います。

子どもたちの人生を良くしようと一生懸命な先生を見て、将来は教員を志すようになりました。

夢に向かって努力を続ける生徒たちへのご支援をお願いします。【宮川佐知子】

◇

支援は、公益財団法人民際センター（東京都中央区、03・6457・5782）へ。同じ境遇の子どもを紹介します。奨学金は年間1万4400円で、写真付きの報告書が届きます。

◇ラオス

本州ほどの国土に約700万人が暮らす。ユニセフ（国連児童基金）によると、2018年の5歳未満児死亡率は出生1000人あたり47人だった。民際センターは、1987年設立。ラオスやカンボジア、ミャンマーなど東南アジア5カ国で奨学金給付や学校建設、教師育成など教育支援に取り組む。